

妊婦あんしん登録事業について

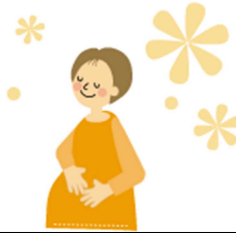
「妊婦あんしん登録事業」は、妊婦さんが安心して出産を迎えられるよう、「もしも」の時に備え、妊婦さんの情報を事前に勝山市健康体育課に登録していただくものです。

登録された情報は、

- ①妊婦の方が緊急時に、かかりつけの産科医師の指示のもと、医療機関へスムーズに搬送することを目的に、勝山市消防署に提供します。
- ②災害時（大雪や台風など）、事前の準備・対策、迅速な対応を行うことを目的に、勝山市危機管理防災係に提供します。

対象者

- ・勝山市在住の妊婦
- ・勝山市内に里帰りしている妊婦



登録方法など

- ・勝山市健康体育課で妊娠届出提出時に「妊婦あんしん登録事業」についてご案内します。
- ・登録を希望される方は、「妊婦あんしん登録事業届出書」を記入していただき、勝山市健康体育課へ提出してください。提出方法は、窓口、郵送、メール、FAXのいずれかになります。
- ・登録いただいた個人情報に変更がある場合は、勝山市健康体育課までご連絡をお願いします。
- ・登録いただいた個人情報は、申請の翌月から登録に反映されます。また、出産予定日の1か月を過ぎた時点で削除します。

緊急時の救急車の利用方法

○緊急時には、まずかかりつけの産科医療機関に電話連絡し、医師の判断を仰ぎ、救急車の必要性を確認します。

○緊急を要する場合とは

- ・陣痛や破水など出産の兆候がある
- ・腹部の痛みや出血がある
- ・腹部に強い張りを感じる など

○救急車を要請する場合とは

- ①かかりつけ医の指示がある場合
- ②自家用車などで医療機関に行く手段がない場合

○救急車の要請方法

- ①「119」番通報し、「救急です」と伝えてください。
- ②住所、氏名、「妊婦であること」、「登録済み」であることを伝えてください。
- ③搬送医療機関は、出産予定医療機関を最優先しますが、出産予定医療機関と連絡を取り、身体状態やその他の状況（環境・道路状態等）により搬送先が変更になる場合があります。



お問合せ先：〒911-0035 勝山市郡町1丁目1-50 福祉健康センター「すこやか」②番入口

勝山市健康体育課 母子保健係

TEL 87-0888/FAX 87-3522

e-mail : kenkou@city.katsuyama.lg.jp

勝山市消防署

TEL 88-0400

予定日が近くなったら…
大雪の予報が出たとき…
災害が起きる前に…

妊婦さんの災害への備え



災害はいつ起きるかわかりません。雪や、その他の災害時に備え、安心して出産ができるよう、どのように行動するか考えておきましょう！

(1) 大雪等、事前に災害が予測できる場合は、ご実家、ホテル等の安全な場所に早めに避難しましょう

(2) もしもの時の連絡方法・移動手段は決まっていますか？

★母子手帳の6ページ「妊娠・分娩に係る緊急連絡先」、
最終ページ「連絡先メモ」に、緊急時に協力が得られる家族
や、分娩予定病院等の連絡先を記入しましょう。

★避難は原則ひとりで行わないようにしましょう。
誰に協力をしてもらい、どうやって移動するか
考えておきましょう。

(3) 防災用品を備えましょう

用品を準備する際は、まず1日に必要な量を確認し、3日以上、出来れば1週間分を目安に備蓄しましょう。

●基本の災害グッズ

- 食料（調理しなくても食べられる、日持ちするもの。）
- 飲料水（1人1日3L）
- 小銭
- 着替え
- 携帯トイレ（つわりの嘔吐時にも活用可能）
- おくすり手帳
- 携帯電話の充電器
- 懐中電灯



妊婦さんに用意してほしい物

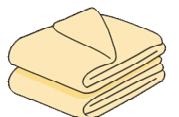
●普段持ち歩いてほしい物

- 母子健康手帳（重要なページはコピーやデジタル化しておく）
- 健康保険証
- かかりつけ病院の診察券
- 緊急時の連絡先（家族・親戚など）
- 内服薬・常備薬
- 飲み物
- ビニール袋（物を入れたりゴミ袋として使用）
- ウェットティッシュ（災害時は断水の可能性が高い、清潔維持のために）
- 生理用品または産褥パッド（急な出血・破水時にも活用）
- マタニティマーク



●自宅に準備するもの

- マスク
- タオル（ハンカチサイズからバスタオルサイズまで）
- ひざ掛け・毛布
- 室内履き（履くときにかがまなくてすむような物）
- 弾性ストッキング（むくみの予防に）



その他にも、必要なものがないか確認しましょう。

(4) 妊婦さんに知っておいてほしいこと

- ①母子健康手帳、健康保険証、診察券はまとめておきましょう。
- ②妊婦さんが持ち出せる荷物の重さは5kgまでと言われています。
- ③他の方が分かるようにマタニティマークをつけましょう。

あなたと小さな命を
まもるため
十分な備えを

